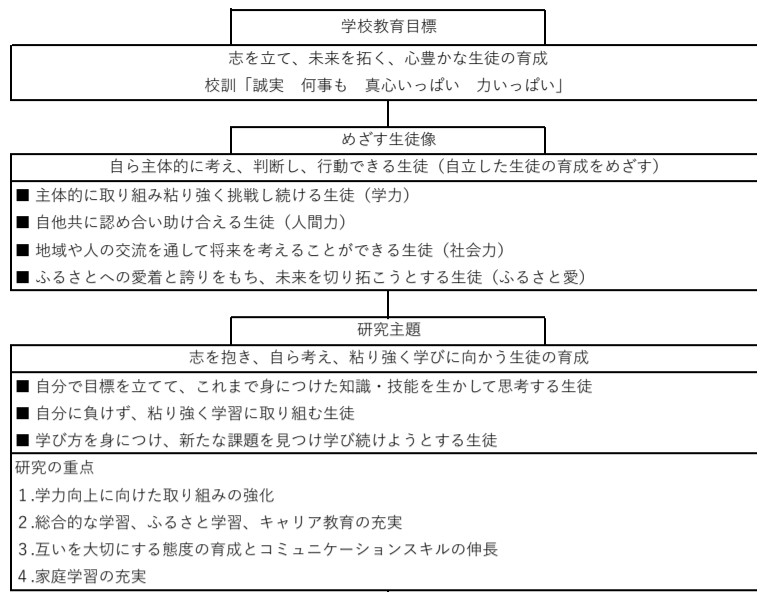


# 研究全体計画

社会の要請等 ・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・学習指導要領 ・島根教育魅力化ビジョン
---



生徒の実態等 ○登校することを楽しみにしている生徒が多い。 ○地域に対する関心が高く、愛着を感じている生徒が多い。 ○自分たちの手でよりよい生活を築こうとする意欲が高い生徒が多い。 ○多様な視点でものを見たり、学習を通して考えを深めたりすることが苦手な生徒が多い。 ○メディアの利用時間が長く家庭学習の時間が短い生徒が多い。
---

育成すべき資質能力と具体的な方策	
めざす資質・能力	具体的な方策
1. 学力向上に向けた取組の強化 ○学習規律を身に着け、目標をもって学習に臨む。 ○学習を通して何が身に付いたか、どのように取り組めたかを振り返り、今後の学習に生かす。 ○友だちや先生の話をよく聞き、進んで自分の考えを伝えようとする。 ○根拠を明らかにしたり、具体的な例を挙げたりしながら、自分の考えをわかりやすく伝える。 ○相手の話を聞き、自分の考えとの共通点や相違点に気づく。 ○互いの考えを分類したり、関連付けたりしながら、自分の考えを深める。  2. 総合的な学習、ふるさと学習、キャリア教育の充実 ○自他のよさに気づき、よりよい人間関係を築こうとする。 ○問題の解決や探究活動に主体的に取り組む。 ○見通しを立てたり方法を工夫したりしながら、協力して問題の解決に取り組む。 ○社会や地域と自分との関わりに気づき、学んだことを生活や社会の中で生かそうとする。  3. 互いを大切にしよう態度の育成とコミュニケーションスキルの伸長 ○相手を尊重し、自分と違う個性や考えを認める。 ○話し合いのルールを守って、話を聞いたり、話したりする。 ○話し合いが深まるように、相づちをうったり質問したり、感想を述べたりする。  4. 家庭学習の充実 ○時間をきめて毎日90分以上学習する。 ○先を見通して計画的に家庭学習を進める。	○学習規律の指導を継続して行う。(2分前着席・準備物・あいさつ) ○出雲市学習スタンダードを徹底して行う。 ○学習の約束、話し合いの約束の指導と提示。 ○生徒が興味を持って取り組むような学習課題の設定や学習過程を工夫する。 ○ペア・グループ活動や話し合い活動による言語活動の充実を図る。 ○ユニバーサルデザインの考えに基づき個別の状況を把握し合理的な配慮を行う。 ○視覚資料、聴覚資料などICT機器を活用しわかりやすい授業に努める。 ○一人一回の授業公開を行うことで、互いに刺激し合い、研鑽を積むことで授業改善につなげる。  ○達成感や自己有用感の感じられる授業に努め夢や希望を育むとともに将来の生活に必要な基礎的・基本的な知識、技能の習得を図る。 ○個々の興味や関心に基づき、一人一人のこだわりが生かせるような課題解決学習、探究活動を工夫する。 ○地域の素材を生かし、地域の人との関わりを通じた学習を工夫する。  ○だんだんタイムの取組。 ○学級経営を基盤とし、認め合い高め合う集団の育成を図る。  ○各教科において生徒のやる気を育てるとともに家庭学習のやり方の指導を行う。 ○計画的に学習が進められるように「学習の手引き」を用いて指導し、定期テスト前に学習計画を作成させるとともにテスト後の振り返りを行わせる。

各教科の実践と指導の重点	
<b>国語科</b> ○自分なりの考えをもって、意見を述べたり聞いたりする機会を多くもつ。 ○立場や考えを明らかにし、相手や目的に応じて論理的に伝える表現力の育成を図る。 ○内容を的確に読み取る能力を高めるとともに読書に親しむ態度を育成する。 ○日常の言語活動を振り返り、基礎的な事項を身につけるとともに言語生活の向上を図る。	○日頃の学校生活や家庭生活と結びつけた活動を取り入れていく。 ○音声機器や補助具等を適宜取り入れ、興味を持って活動ができるようにする。 ○地域の方言や民謡などの地域素材を導入する。 ○単元の目標と授業のめあてを明確に示すとともに振り返りを行うことによって、学習意欲の向上と学習内容の定着を図る。 ○個に応じて選択できる学習過程を工夫する。 ○ペア学習やグループ学習などいろいろな学習形態を用い、また「話す」「聞く」「読む」などの音声活動を効果的に取り入れることにより、活気のある授業をめざす。 ○国語辞典、漢和辞典、ことわざ辞典、資料集、歳時記などを積極的に活用し、語彙を豊かにする。 ○漢字や語彙の指導は小学校の内容との関連を図り、また各学年を通して系統的な指導をするようにしていく。
<b>社会科</b> ○学習内容の精選を図り、基礎的・基本的事項の理解を深めるとともに、社会事象に対する見方や考え方の思考力や判断力の基礎を養う。 ○視覚に訴える教材を積極的に取り入れ、生徒が興味・関心をもち主体的に取り組む授業をめざす。 ○一人一人が課題意識をもち、主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。 ○「めあて」と「振り返り」を意識したわかる授業のための学習過程のあり方や、評価の方法、教材開発のあり方を研究し、指導技術の向上を図る。	○学習納まりや約束、基本的な学習のあり方を習得させる。 ○国際化や情報化の進展、国際情勢の動き、高齢化、地球環境問題、産業構造の変化などの今日的な課題、社会変化に適切に対応した内容を積極的に取り入れるように努める。 ○課題解決学習を各分野で設定することにより、生徒が興味をもち、主体的に学習に取り組むことができるように配慮する。 ○生徒が興味関心をもつ教材や題材を多く扱ったり、多様な価値の出る発問を用意し、ペアトーク、グループトーク等を取り入れたたりし、思考力を養うようにする。 ○社会事象に興味関心をもたせるため、ニュースや新聞を読むように指導し、定期テストで時事問題を出题するように心がける。 ○同和問題学習においては、その配慮事項を明確にし、差別の気づき、差別への憤り、差別の解消につとめる課題解決へと発展する学習になるように指導する。
<b>数学科</b> ○見通しをもち筋道を立てて考える能力を育成する。 ○問題解決に向けて、既習事項を用いて、自分の力でねばり強く取り組む生徒の育成。	○一人ひとりの生徒の実態を把握し、個別指導を繰り返す、「わかる喜び」を感じさせるよう努める。(・TTの授業の工夫・小テストや計算練習など基本事項を定着させる活動の実施・ペア学習やグループ学習の実施・ノート、プリントのチェック) ○授業展開や板書を工夫し、わかる授業づくりに努める。 ○家庭学習の習慣づけになる課題の設定。(復習課題(プリント等)を出し、宿題として取り組ませる。小テストとの関連。) ○学習意欲を引き出す学習課題の設定。(・日常の事象に関連する学習課題・多様な見方や考え方のできる学習課題・数学的な事実が気がついたり、発展的に考えたりすることができる学習課題) ○「数学のよさ、楽しさ」を味わえるような数学的活動を取り入れた授業の工夫。 ○学習意欲を高める評価方法の工夫。(・自己評価表による振り返り。授業中の相互評価。)
<b>理科</b> ○個人レポート作成の定着による分析力の向上 ○グループでの話し合い活動の工夫と充実 ○指導方法を工夫し、自然現象に対する興味関心を喚起させる。 ○授業のめあてと振り返りを意識した授業展開を図り、何を求めるのかという課題意識をはっきりとをもって実験・観察に取り組み、新たな事実や関係を見つけ出していくとする姿勢を育てる。 ○科学的な概念(物質・エネルギー・時間空間・生命など)を使用して考えたり説明したりする力を養う。 ○科学館学習との連携を図る。	○観察や実験のときには必ず個人レポートを作成させ、図やグラフも利用して、自分の考えを表現させる。 ○話し合い活動に重点を置いた授業を計画的に行い、考えたことを互いに伝え合うことにより、言語活動の充実を図る。 ○小テストなどを行い、基礎的な知識の定着を図る。 ○定期テスト後にはテスト直しノートを提出させ、提出物の評価を生徒に伝える。 ○導入や発展についての教材を工夫し、生徒個々の主体性と創造性、自由な発想を伸ばすような「楽しい理科」の実現を図る。 ○学び合いの場面を多くとり入れ、学習内容の理解の深化、思考力や技能を高める。 ○生命の尊さや環境について自ら学び、周囲の人と共に生きていこうとする態度を育てる。 ○パフォーマンステストの実施を通して、実験観察の基礎操作の定着を確認する。 ○教育機器(教材用DVD・実体投影装置・タブレットPC・パソコン等)の活用を図る。 ○教室環境の整備、充実を図る。 ○教材研究や情報交換を密にし、指導計画の評価と改善を図る。
<b>美術科</b> ○学習の基盤(土台)を定着させ、自分らしさを大切に集中して制作に取り組む態度を養う ○学習を通して、作品のよさ、態度のよさ、もの美しさ、行動の美しさなどを素直に感じ取り、自己の学校生活がより豊かになるように、積極的に創造したり改善したりする態度の育成を目指す	○生徒が、自信をもって意欲的に取り組めるような基礎力を養う題材の開発 ○3年間を見通し、段階的に創作活動を深める題材配列の工夫 ○指導過程の工夫 ○基礎基本の徹底…スケッチの重視、基礎的技法の指導 ○発想段階の重視…見方、感じ方、考えの深まり(スケッチ、イメージメモ) ○感動のときれ、集中力の欠乏への配慮…よさを認め、個性を生かす指導 ○個別指導のあり方…自己を見つめさせる・ほめる・いかす ○資料提示のあり方…「いつ」「どこで」、壁面掲示とのつながり
○人間的なふれあいを大切に、一人ひとりの良さを認めあえる学習集団作りに努める。 ○幅広い音楽活動を数多く体験させ、生涯にわたり音楽を愛好するための場を作る。 ○小集団学習の良さを生かした授業形態を工夫する。	○一人ひとりの感動やイメージを大切にしながら、個々の生徒の良い点を見つけて評価し、やる気と自信を持たせていく。 ○人の失敗を嘲笑するような雰囲気や断じて許さないという姿勢で授業に臨む。 ○教材の精選に努め、魅力ある楽曲を教材とし、レパートリーを広げる。

音楽科	<p>○豊かな表現力や感動を呼び起こす鑑賞活動の活性化に努める。</p> <p>○音楽活動のための基礎技能（生きたソルフェージュ・歌唱法・楽器の奏法）の向上を図る。</p>	<p>クラスが一体となって合唱したり合奏したりすることで、クラスの一体感・連帯感が味わえるよう指導方法や指導する際の言葉かけを工夫する。</p> <p>○教えられる学習から、自分たちで作る音楽学習への転換を図る。</p> <p>○授業のどのような場面で小集団活動を取り入れたら効果的かを研究する。</p> <p>○視聴覚機器を有効に使用し、多様な音楽活動の活性化に努める。</p> <p>○学年・教材に応じた視聴覚ソフトの選択と作成に努める。</p> <p>○「継続は力なり」ということが実感できるよう、毎時間焦らずゆっくり丁寧に指導していく。</p> <p>○つまづいている生徒には、一斉指導の中で適宜個別指導をし、「自分もできた」という体験を数多くさせていく。器楽表現と歌唱表現の一体化を図っていく。</p>
技術科・家庭	<p>○豊かな生活の想像をめざして課題をもち、よりよい生活を男女が協力して築く能力や実践的な態度を育成する。</p> <p>○実習や話し合いを通して、協力して活動し、互いの作品や意見のよさを認め合える生徒を育てる。</p> <p>○技術や生活と社会・環境との関わりを理解させ、これからの社会で主体的に「生きる力」を育成する。</p>	<p>○3年間を見通した題材の配列を工夫する。</p> <p>○実践的・体験的な学習を重視し、主体的に取り組める学習過程（問題解決学習等）を工夫する。</p> <p>○知識・理解による進捗差に応じて学習形態（一斉・グループ・個別等）を工夫する。</p> <p>○学習意欲を高めるために「めあて」の提示や評価方法（自己評価・相互評価等）を工夫する。</p>
保健体育科	<p>○運動の特性に触れ、自ら課題を見つけ、解決していけるような学習指導の工夫。</p> <p>○自主的、主体的に学習する力を育てる指導を重視する。</p> <p>○技能を習得させ、できる喜び、できるようになる意欲を持たせる学習指導の工夫。</p> <p>○個に応じ、個を生かした学習指導の工夫。</p> <p>○小集団やグループでの学びあいを生かした学習指導の工夫。</p> <p>○健康や安全についての理解を深め、個人や集団の健康を高める。</p>	<p>○リーダーの育成と主体的な活動場面の構成をする。</p> <p>○グループ学習・チームの練習場面でのリーダーの生かし方を工夫する。</p> <p>○学習カードの作成と活用の工夫をする。</p> <p>○個々のめあてを持たせる。</p> <p>○個の高まりを確認し、自己評価をさせる。</p> <p>○個に応じた課題意識を持たせる。</p>
英語科	<p>○学習指導要領の主旨をふまえた教科経営に努める。</p> <p>○英語学習に対する興味・関心・意欲を持たせ、生徒一人一人が自ら考え、学んでいく主体的な学習態度を身につけさせる。</p> <p>○英語の学習を通して、国際社会に生きる人間としての資質を養うとともに、英語の特性（表現、文法、言語の働きなど）を理解し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。</p> <p>○「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やりとり、発表）」「書くこと」の4技能をバランスよく育てる。</p> <p>○生徒一人一人の学力差に応じた指導を行い、英語が苦手な生徒も授業にきちんと参加し、理解する喜びを味わえるように、指導法の工夫・改善を図る。</p>	<p>○授業中の工夫と支援、授業と関連付けた課題（家庭学習）の設定。（・TTの工夫、連携・単語や英文の小テストなど、基本事項を定着させる機会の設定・ペア学習、グループ学習の実施（教え合い）・ノート、プリントの活用、チェック）</p> <p>○身近なことや人、出来事などを題材にし、英語やその表現に対する興味・関心をもたせるよう努める。</p> <p>○教科書の題材を通し、自国や他国について学ぶ機会の設定。</p> <p>○ペアワーク、グループ活動での話す機会の設定。</p> <p>○ワークシートや授業形態の工夫、個別支援を行うことで個々の学力に応じた学習を提供するよう努める。</p>
道徳科	<p>○誰に対しても公正、公平に接し、差別や偏見のない学級や学校をつくらうと自主的に行動する生徒を育てる。</p> <p>○望ましい生活習慣を身につけ、節度を守り節制に心がけ、調和のある生活をしようとする生徒を育てる。</p> <p>○友情の尊さを理解し、友だちと互いに励まし合い、高め合い、人間関係を深めようとする生徒を育てる。</p>	<p>○授業のねらいをはっきりとさせ、ねらいに迫る授業展開をする。</p> <p>○音声機器や補助具等を適宜取り入れ、興味をもって活動できるようにする。</p> <p>○話し合い場面を設定し、意見を出し合うことによって考えが深まるようにする。</p> <p>○ローテーション道徳を活用し、生徒の様子を観察し、教師の授業力の向上に役立てる。</p> <p>○道徳ノートを活用し、学習のあゆみとして残すとともに、評価の材料とする。</p>
総合的な学習	<p>○社会のつながりの中で、積極的にスキルを身につけ、それを生かして課題を探究することができる生徒を育てる。</p> <p>○自ら課題を設定し、解決していこうとすることを通して、自分の生き方を考えたり、社会への提言を持つことができる生徒を育てる。</p> <p>○自ら積極的に課題を設定し、多様な価値観にふれて、探究を深めようとする態度を養う。</p>	<p>○課題設定、探究方法の工夫、協働的な活動、考察、振り返りといった学習の過程を示す。</p> <p>○地域に学習材を求め、地域の人々と関わる活動を通して、その姿に学ぶ。</p> <p>○キャリア教育との関連を図り、社会とのつながり、将来への展望を意識させながら、学習を進める。</p>
特別活動	<p>○相手の立場を尊重し、協力しあって学級および学校生活の充実と向上を目指し、集団として自発的に活動計画を作成したり、実践活動にとりくめるように努める。</p> <p>○集団の一員として、学校生活の充実改善を目指す活動において、多くの内容・運営に、生徒が主体的積極的にとりくめるように工夫をする。</p> <p>○豊かな体験活動を通して、人間関係の広がりや協力的態度の育成、個性の伸長を目指す。PTAや地域の人々との交流を積極的に行い、ふれ合いの充実を図る。</p>	<p>○生徒が主体的にとりくめる学級組織づくり</p> <p>○計画的な学習習慣の定着を図るための支援</p> <p>○互いの個性の理解の深化</p> <p>○互いの考えを尊重しあう支持的風土の育成</p> <p>○生徒が主体的に創造していく生徒会行事</p> <p>○アルミ缶回収などボランティア活動の充実</p> <p>○生徒による全校集会の運営</p> <p>○学校生活充実につながる委員会活動の工夫</p> <p>○学びあい高めあう学級集団づくり</p> <p>○生徒の発想を生かし主体となれる学校行事の推進</p>